

このコーナーでは、病院施設や事業のほか、生活に役立つ“健康豆知識”などを紹介します。

長浜市立湖北病院

眼科部長
中村 貴士



白内障と緑内障

白内障と緑内障は、皆さんが一度は耳にしたことのある病名だと思います。

まず、白内障についてですが、白内障とは目の中の水晶体が濁ってくる病気です。

症状は、視界がかすんで見えるようになります。治療としては基本的に手術となり、手術時間は30分くらいと比較的短時間で終わります。白内障の手術の時期ですが、白内障が進行しても手術に手遅れということはありません。ご自身がかすみ目でも不自由と思われた頃が手術の時期だと考えてください。

次に緑内障についてですが、

一般的な原発性開放隅角緑内障について説明します。緑内障になると、目の圧力(眼圧)によって目の奥の太い神経(視神経)に負荷がかかり、視神経が時間をかけて萎縮し、見える範囲(視野)が狭くなっていきます。治療としては、眼圧を下げる目薬を使い、視野が狭くならないようにします。色々な種類の目薬を併用しても視野が狭くなっていく場合は、緑内障の手術を検討する必要があります。一度狭くなった視野を広げることは無理なので、早期発見が大事です。白内障、緑内障など目の病気が心配な方は、気軽に眼科受診していただければ幸いです。



問 長浜市立湖北病院

82・3315(代表)

ながはまの自然不思議発見!

エピソード 52

カケスの忘れ物

市内の自然の不思議や、そこに住む様々な生き物の面白い生態などを紹介します。

自然界で生き物たち同士がお互い支え合って生きることや「共生」と言います。利害の有無など共生には様々な関係がありますが、今月は意図せず他の生き物を支えることとなっている変わった事例を紹介したいと思います。

カケスというハトより一回り大きなカラスの仲間の野鳥がいます。身体の中で、黒い部分は翼と尾羽のみで、他に赤紫や青色の羽をもち、カラスの仲間と思えないほどカラフルな配色をしています。

カケスの好物は、ドングリの実です。今の時期は野山を飛びまわり、必死にドングリを集めます。集めたドングリは、冬の間の大切な食糧として、落ち葉や枯れ枝の下などに隠しておいて、エサの乏しい冬にそれらを掘り起こして食べていきます。

隠したドングリの位置を忘れてしまふことがあるようで、そういった忘れ物が他の生物に食べられず無事に発芽し、新しい木へと育つようです。カケスは意図していませんが、結果

カケスさんは大忙し!!

この時期、ドングリ集めに大忙しのカケスさんを見ましょう!

◆喉にたくわえて運びます



たくさんのドングリが入っています



周りを見ながら考えて落ち葉の下などにドングリを隠します。

カケスさんはドングリを食べながら、ドングリを植えているんだね!

食べ忘れた種から新しい芽が生えてきます。



▲栗を運ぶカケス
(ドングリの他に栗も大好物です)

問 湖北野鳥センター

(829)・1289